

Touch the World, Seize the Future

TOYO HIGH SCHOOL

ACCESS 主な駅から沼津駅までの所要時間	
JR東海道線	三島駅 5分、熱海駅 17分、富士駅 18分、由比駅 32分、小田原駅 42分
JR御殿場線	御殿場駅 33分
JR伊東線	伊東駅 50分(熱海駅乗換)
伊豆箱根鉄道	修善寺駅 50分(三島駅乗換)
JR身延線	富士宮駅 42分(富士駅乗換)



- JR東海道線・JR御殿場線・沼津駅北口より 徒歩約12分
- 東名高速道路沼津インターより 車で約15分
- 国1バイパス江原公園交差点南下(リコー通り) 車で約3分

桐陽高等学校

TOYO HIGH SCHOOL

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町 8-52
 TEL (055) 921-0350 FAX (055) 921-9844
 E-mail koho@toyo-numazu.ac.jp

お問い合わせ、詳細は
 ホームページから

桐陽 検索



なぜ今、 留学をするのか？

世界に通用するグローバルな人材が求められている現代。英語力はもちろん、異文化を理解し、世界とコミュニケーションをとるスキルはますます重要性を増しています。

これからの社会に必要な国際力を身につける、またとないチャンスが高校留学です。将来の進路を決める高校時代に、海外で生活し現地の高校生とともに勉強する。それはグローバル人としての素養を身につけるだけでなく、人間としても大きく成長する貴重な体験です。高校留学30年以上の歴史を誇る本校が、あなたを応援します。

一般的に、留学への適応は10代半ばがスムーズといわれています。なぜなら大人にはない柔軟性と吸収力があり、新しい環境への適応能力も高いからです。また、高校生になれば中学生ではできない自己管理や判断ができるため、親元を離れた海外での生活にも対応できます。もちろん、卒業後の進路選択の前に視野を大きく広げるといったメリットも見逃せません。

沿革

平成3年 国際進学コース設置
平成3年 国進 米国希望制サマーキャンプ開始
平成4年 留学進学コース設置
平成5年 留進 留学先 米国ロードアイランド州モーゼス・ブラウンスクールと姉妹校提携調印
平成8年 国進 豪州1ヵ月語学研修開始 研修先 マルチドー
平成10年 留進 留学先 米国オレゴン州・カナダブリティッシュコロンビア州を追加
平成11年 国進 豪州3ヵ月語学研修開始
平成14年 留進 カナダ留学先 アルバータ州に移行
平成15年 国進 語学研修先 豪州アデレードに移行／留進 米国留学先 オレゴン州に移行
平成16年 留進 米国留学先 ペンシルヴェニア州に移行
平成20年 国進 語学研修先 豪州メルボルンに移行
平成30年 エンパワーメントプログラム 導入
平成31年 留進 アカデミックスキル講座 導入
令和3年 留進 カナダ留学先 ブリティッシュコロンビア州 ナナイモに移行

信頼と実績30年以上のノウハウ！桐陽高校の留学コンセプト

世界に通用する日本人を育てる

留学は目的ではなく、あくまでも手段です。グローバル化する世界において国家間における諸課題の解決や民間レベルの交流に際して、英語を駆使して相互理解を深め、互恵関係を築ける人材が必要です。日常生活にもグローバル化が及ぶに至り、今後は日本人の一人ひとりがそのような資質を高めていく必要性に迫られています。

一方で、グローバル人とは名ばかりの民族的アイデンティティを持たない人は、国際社会では尊敬されません。あくまでも日本人として、世界に伍する力を涵養するのが本校の留学です。また、留学中に遭遇する幾多の困難に立ち向かう経験により、社会のリーダーにふさわしい逞しさを兼ね備えた人材に成長することを願っています。

Point
01

留学と 大学受験の両立

留学で培ったグローバル人としての資質を活かすためには、大学へ進学し高い専門性を身につける必要があります。また、学歴社会の日本では、広くチャンスを掴むうえで大学進学は重要です。そのため卒業後は日本の難関大学への進学を目指します。

留学期間の長短は、受験準備の期間の長短と反比例の関係にあります。高い英語力を持ちながら、思うような進学を果たせない生徒がいるのはそのためです。

私たちは、これを打開するための様々な工夫を積み重ねてまいりました。留学で培った英語力を受験でしっかり活かせるよう、3年間がプログラムされています。

Point
03

選び抜かれた 地域と学校

英語を話す国ならどこでもよいというわけではありません。外国人が標準的な日本語を学ぼうと思えば、関西圏よりも関東圏に留学するのがふさわしいのと同じです。治安の良し悪しは留学の成果以前の問題として考慮することは言うまでもありません。

本校ではさらに、ホームステイは一家族に日本人一人ずつを原則としているため、良質な学校とホストファミリーを多数確保できることも場所選びの重要な要件です。

Point
02

留学を前提とした コース制

本校ではクラス全員が留学をするコース制だからこそ、そのための事前指導および事後指導が徹底して行える体制となっています。

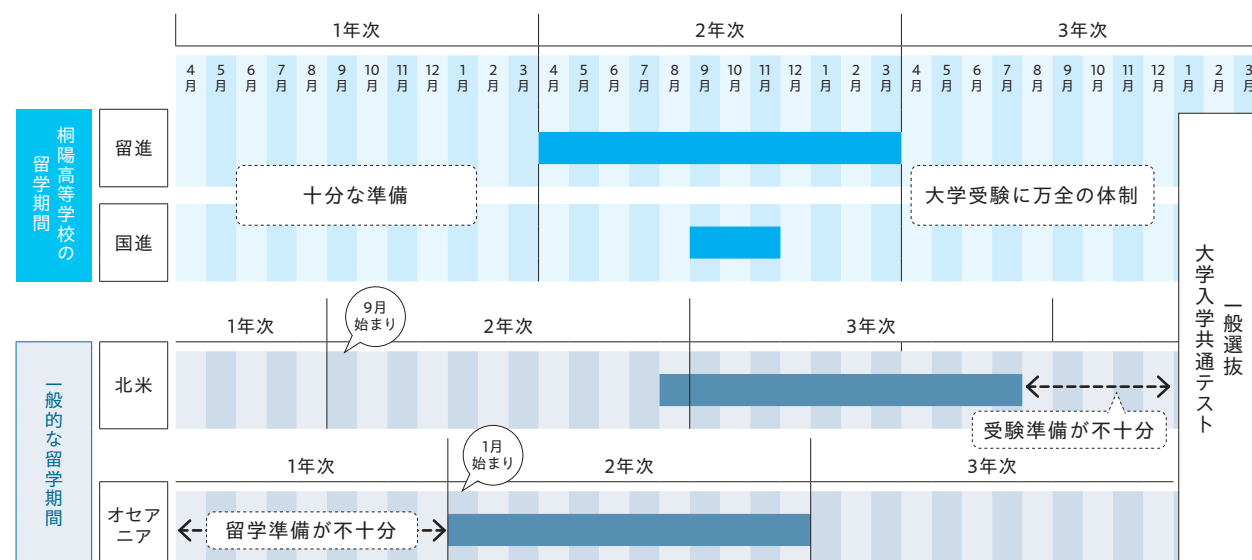
特に事前指導は、留学中の吸収力とトラブル防止に直結するので、とても重要です。また、共通の意識と経験をもつ仲間からなる集団で取り組むことが相互支援を生み、大きな相乗効果を発揮します。これは留学と受験の両立という困難な目標を達成するには極めて重要なファクターです。

Point
04

日本の学校制度に 合わせた留学期間

通常は受け入れ先の学期に合わせて留学することが多いのですが、それでは日本における学習進度や受験システムとのミスマッチが生じます。これが、留学と大学受験の両立を図るうえでの大きな障害の一つとなります。

本校では、日本の学校制度に合わせた独自の留学プログラムを構築することによって、無理なくスムーズに留学準備と受験準備が行えるタイミングと時間の確保を実現しています。



現地高校生の学年 北米は9月始まり、オセアニアは1月始まりです。

教育改革 & 大学入試改革

ある研究機関によると、AI技術の発展によって、2030年には日本の労働人口の約49%が技術的にAIで代替可能になると言われています。明治維新以来の社会の大転換期を迎えているという専門家もいます。

こうした新しい時代を生きるにふさわしい力を身につけるため、教育も変わりはじめました。これまで何度も取り沙汰されてきた知識偏重型の教育から、いよいよ本気で脱却を図ろうとしています。それに合わせて大学入試も改革が行われつつあり、「思考力」「判断力」「表現力」を問う入試形態への移行が進められています。長期の留学がこうした力を養う絶好の機会となることは識者の言を待つまでもありません。しかも、入試において最も変革が進んでいるのが英語です。これまでの、【読む】【聞く】に加えて【書く】【話す】までの4技能が高く評価されるようになりました。

私たち桐陽高校は、こうした社会の到来に備え、およそ30年前から日本人の高校生に適した留学プログラムを構築し、毎年多くの生徒を送り出してきました。そして卒業生の多くが社会の第一線で活躍しています。



各資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	実用英語技能検定I級～3級	TOEFL (iBT)	IELTS
C2	各級CEFR算出範囲		9.0 – 8.5
C1	3299 2600	120 – 95	8.0 – 7.0
B2	2599 2300	94 – 72	6.5 – 5.5
B1	2299 1950	71 – 42	5.0 – 4.0
A2	1949 1700		
A1	1699 1400		

英検・TOEFL・IELTSが受験で使える大学 (GMARCH／関関同立／早慶上智)

英検	TOEFL (iBT)	IELTS	一例
2級以上かつ1,980点以上	42点以上	4.5以上	学習院大学 国際社会学部
準1級以上	72点以上	5.5以上	明治大学 国際日本学部(英語4技能)
2,100点以上	50点以上	4.5以上	青山学院大学 総合文化政策学部
○	○	○	立教大学 全学部
準1級以上	42点以上	4.0以上	中央大学 文学部 英語文学文化専攻以外
準1級以上かつ2,500点以上	76点以上	6.0以上	法政大学 グローバル教養学部
2級以上かつ1,950点以上	42点以上	4.0以上	関西大学 文学部
2級以上または1,950点以上	42点以上	4.0以上	関西学院大学 全学部 共通テスト利用
準1級	72点以上	6.0以上	同志社大学 法学部(自己推薦)
2級以上	61点以上	4.5以上	立命館大学 国際関係学部
○	○	○	早稲田大学 国際教養学部
○	○	○	上智大学
2,500点以上	×	×	慶應大学 文学部

(2025年)

留学進学コース

留学期間 1年

カナダの高校で2年次の1年間ホームステイをし、ネイティブ並の会話力を身につけます。実用英語技能検定は準1級合格、TOEFL iBTは72点以上取得が目標です。大学で学ぶレベルの英語力をすでに身につけて卒業するので、進学先で大きなアドバンテージとなります。



留学前<1年次>

1年次に取り組むこと<年間スケジュール>

4 April	入学式／単語テストスタート／文法勉強スタート／桐陽塾スタート／留学報告会の見学／留学オリエンテーション	10 October	英検 2 回目／中間テスト／ハロウィンパーティー
5 May	中間テスト／英検 1 回目	11 November	留学オリエンテーション
6 June	大学見学／留学オリエンテーション／桐陽祭	12 December	期末テスト／テーブルマナー／TOEFL ITP1 回目／冬期進学講座
7 July	期末テスト／三者面談・留学面接／夏期進学講座	1 January	TOEFL ITP2 回目／ビザ申請／英検 3 回目
8 August	夏期進学講座／体験入学手伝い	2 February	TOEFL ITP3 回目
9 September	課題確認テスト	3 March	留学オリエンテーション／1、2年生交流会

留学意識を高める様々な取り組み

TOEFL指導



TOEFLの指導が授業で行われます。答えの探し方やテクニックを普段の授業で扱っている文法や読解とリンクさせながら指導します。

留学オリエンテーション

留学に向けて必要とされる英語力の向上に加え、異文化理解や主体性、責任感といった精神的な準備を含めた総合的な力を養うことを目的に、年間を通じて継続的なオリエンテーションを実施します。このオリエンテーションでは、現地での生活に必要な知識やマナー、トラブルへの対処法、異なる価値観との向き合い方など、留学生活において重要となる幅広い内容を取り扱います。

授業内容<英語>

1年次の目標 英検2級以上、TOEFL ITP 460点

文法

1学期に3年間分の文法を学ぶ。その後は問題演習を繰り返して文法力を確実にしていく。

資格対策 (TOEFL&英検)

PBT、ITP、iBTのReadingの問題を毎授業解くことで、長文を読む力がついていく。2学期の終わり頃から3回ITPの受験をする。

英会話

週3時間、ネイティブの先生による英会話の授業で、“使える英語”の力を培うことができる。

留学後<3年次>

3年次の年間スケジュール

4 April	留学報告会／桐陽塾スタート	10 October	総合型選抜受験／大学入学共通テスト出願
5 May	中間テスト／留学展示作成	11 November	学校推薦型選拔出願開始／学校推薦型選抜受験
6 June	ベネッセ共通テスト模試／第1回 実用英語技能検定試験 目標:準1級に合格	12 December	期末テスト／学校推薦型選抜 結果発表／冬期進学講座
7 July	期末テスト／三者面談／夏期進学講座	1 January	大学入学共通テスト受験／私大一般選拔出願開始／卒業認定試験
8 August	夏期進学講座	2 February	自由登校／国公立大出願開始／私大一般選抜受験／国公立大前期日程受験
9 September	ベネッセ共通テスト模試／総合型選抜 (旧AO入試) 出願開始	3 March	卒業式／国公立大後期日程受験

取り組み

〔1〕
一般選抜入試に向けて

3教科5科目に特化したカリキュラムとそれを補う桐陽塾、夏期・冬期進学講座 カリキュラム 週34時間
【国 語】 古典探究 5、論理国語 4 計 週9時間
【世界史】 週6時間
【英 語】 英コミュ 5、英語講読 4、TOEFL演習 3、英会話実践 3 計 週15時間
【桐陽塾】 共通テスト／英検
【夏期進学講座】 前期、中期、後期 計 15日間
【冬期進学講座】 約5日間

〔2〕
二学期の入試に向けて

受験資格を獲得するために、民間の英語4技能試験 (TOEFL iBT、実用英語技能検定試験準1級を受験)
【目標】 英検準1級、TOEFL iBT 72点、CEFR B2レベル相当
(上智大学外国語学部英語学科の学校推薦型選抜の出願基準)

留学の成果 実用英語技能検定取得状況

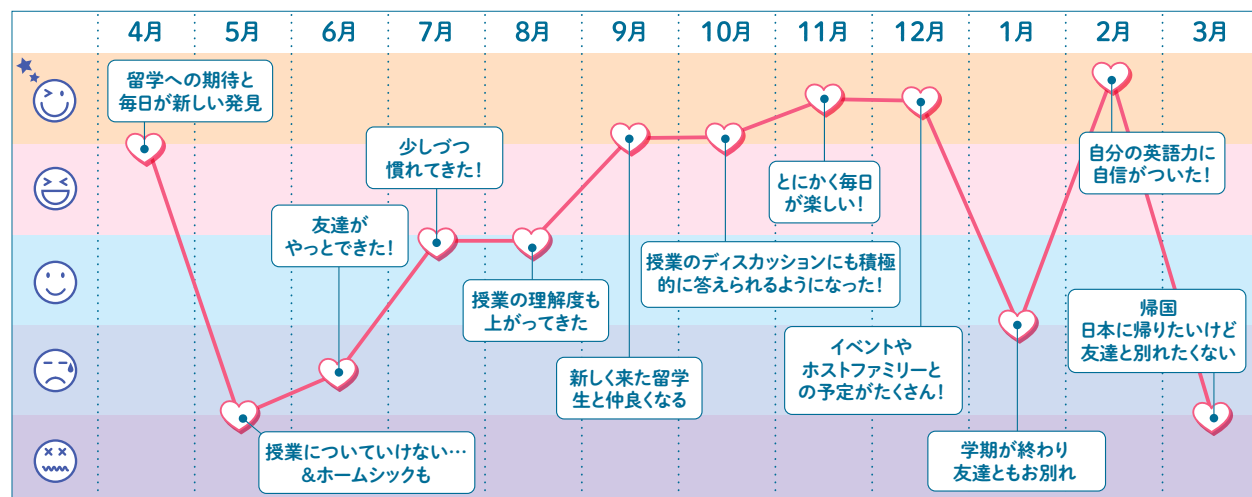
卒業年度	2級取得率	準1級取得率
令和4年度	100%	83%
令和5年度	100%	100%
令和6年度	100%	100%

主な進学先

【国公立大学】
東京外国語大学／東京学芸大学／静岡県立大学／都留文科大学／山梨県立大学／釧路公立大学

【私立大学】
慶應義塾大学／早稲田大学／上智大学／中央大学／明治大学／青山学院大学／法政大学／立教大学／津田塾大学／同志社大学／獨協大学／学習院大学／関西外国語大学／南山大学／立命館大学／東京理科大学 ほか

いざ、留学へ ★留学中の心理グラフ(Hさんの場合)



カナダ ブリティッシュコロンビア州 ナナイモ



- バンクーバー島東海岸にある島内第2の都市
- フェリー発着の港もあり、バンクーバー島の玄関口
- 年間を通して過ごしやすい温和な気候、活気ある港町
- Nanaimoは「人の出会う場所」を意味しており、町の人々もフレンドリー
- 課外アクティビティも充実

授 業

- ◆演劇
- ◆心理学
- ◆フード
- ◆英語
- ◆電子工学
- ◆数学
- ◆化学
- ◆英語
- ◆ダンス
- ◆ヨガ
- ◆料理
- ◆体育など

夏休みの体験

- ◆Calgary Stampede
- ◆サマースクール
- ◆キャンプ
- ◆ハイキング
- ◆プール
- ◆BBQなど

独自のイベント

- ◆Easter
- ◆Canada DAY
- ◆Stampede Breakfast
- ◆Thanksgiving
- ◆Boxing Day

TOEFLに特化した内容で英語力が凄く上がります。

たまごにペイントしたり、家中に隠されたたまごカプセルを探して、その中のお菓子をゲットするイベントです。

カナダのお祭りで、沢山の屋台が出て、花火なども打ち上がります。



卒業生メッセージ

森川 夕貴

留学進学コース卒業

テレビ朝日アナウンサー

みなさんは高校3年間という限られた時間をどのように過ごしたいでしょうか?どう過ごすにせよその3年間はこの先の人生を決めるといっても過言ではない濃密な時間になっていくでしょう。勉強の結果がついてこなくて悔し泣きしながら帰ったこと、仲間と笑いすぎて涙したこと、留学先で寂しくて泣き喚いたこと、先生方にそっと支えられて嬉しくて泣いたこと。そういったことを積み上げて手にした未来への切符と英語力。みなさんもきっと3年後には未来につながる何かを手にして卒業していることかと思います。頑張って!

カナダで驚いたこと

食 事

- 野菜の摂取量が少ない。基本的にはパン。お米+お肉/魚で、最初は慣れなかった。
- 意外とヘルシーで、野菜中心のものを食べる日もあり、毎週ジムに行ったり、ランニングをしたりなど健康に気を遣っている人が多い。
- ピザやハンバーガーを夜ご飯に食べる頻度がとても多い。
- タイ米ではあるが、意外とお米が夕食にすることが多い。

性 格

- 困ったら必ずと言っていいほど助けてくれる人がいる。
- カナダの人は他人に関心がある人が多く、バスの中のちょっとした会話が楽しい。
- はっきり言うことは言うが、礼儀を大事にするところは日本人と似ている。
- 全員が自由で芯がある。良くも悪くも干渉してこない。
- ナナイモに住んでいる人はとても穏やかで、時間がゆっくり流れているように感じた。
- みんな自己主張が強いが、口論や喧嘩に発展することがあまりなかった。

生 活

- 多文化:外に出ると、カナダ人と同じ比率で留学生や移民の人がいると言っているほど(特にバンクーバーや都会の方)。
- ハグ文化が栄えている(毎晩寝る前にホストマザーとハグしていたり、お別れの時は必ず。ハグなしでは生きていけない)。
- ホストファミリーがよく友達を家に招待する。

学 校 生 活

- 授業中にほとんどの生徒が発言している。
- 比較的自由(メイク、授業中の飲食などok)。それでも学習する時はみんな集中している。
- 授業スタイルが日本とは全然異なり、ディスカッションなど実践的な授業が多い。
- とても自由で自分で授業を選ぶ。
- 様々な学年が混ざって授業があること。心理学など日本にない科目がある。

そ の 他

- 自由:先生たちは生徒がやりたいこと・目指すものを個人個人で応援していた。生徒たちが自由に自分を表現できる環境だった。
- 様々な国籍の人がいることや、LGBTQ+であることをオープンにしている人が当たり前にいるなど、多様性が認められている。

Q. 留学中に1番影響を受けた人&その理由

ホストファミリー

私がホームシックの時や友達と喧嘩をして落ち込んでいる時、優しくハグをしてくれて、相談にも沢山乗ってくれて、第2の家族のように歓迎してくれたことが嬉しかったし、それと同時に日本の家族とはまた違った家族との関わり方を学ぶことができたから。

友 達

どんな時もそばにいて支えてくれて、前向きな気持ちにさせてくれたから。いつも私の努力を傍で見て認めてくれる頼れる人がいてくれたおかげで、この留学を通して自分に自信がつき、最後まで諦めることなく頑張れたから。また、自分より年下にも関わらず、考えがとても大人に刺激を受けた。

留学した生徒の声

①留学して困ったことはどんなことですか。その困難をどのように乗り越えましたか。

- 友達作りが1番苦労しました。小さな学校だったので、現地の子どもたちは小さい頃からお互いを知っていて、留学生同士もすでにグループができていて、その輪に入るのに苦労しました。自分の英語力に自信がなく、話しかけることが出来なかった頃はとても悩みましたが、隣の席の子に勇気を出して話しかけたことがきっかけで仲の良い友達が出来ました。そこからどんどん輪に入れるようになりました。
- ホームシックになることが多くあったことです。ホストファミリーや友達はとても親切で、第2の家族のように接してくれました。でもやはり、心の中で自分の家族に会いたいという気持ちがずっとありました。それほど家族は大切なもので私は大好きなのだと感じました。これを解決するために、編み物、ボランティア活動、カフェラテ作り、料理など新しいことに挑戦し、カナダでの生活をもっと充実させることに尽きました。寂しい時は寂しいとホストファミリーや友達に素直に伝え、支えてもらっていました。

②留学したことによって自分はどう変わったと思いますか。

- 留学前は、英語力向上は将来の可能性を広げるのに役立ち、留学を通してネイティブのようにすらすらと、日本人特有のアクセントなく話せるようになりたいと思っていた。しかし、留学を通して英語力は世界中の人々を繋ぐコミュニケーションのツールとして、とても重要なスキルだと実感した。また、発音も大切ではあるが、相手に伝わる限り、あまり気にすることではないのだと思うようになった。また、結果はどうであれ、何でも挑戦することが大切なのだと痛感した。
- 他国に対する価値観が変わった。自分が思ったより他国の人に偏見を持っていることに気づいた。しかし、話してみると国籍なんて関係なく親切な人は沢山いることに気づかされた。最初の頃は自分の英語力に自信がなく、授業のディスカッションで発言を躊躇っていたけど、気にせずに挑戦してみることが大切だと分かり、それが英語力の伸びに繋がることが分かった。
- まず第1にあるのは、リスニング力とスピーキング力(自分の言いたいことを英語で早く組み立てる力)がついたこと。現地の人が話すスピードは、日本で勉強していたリスニング音源とは全く違った。最初の頃は聞き取れない自分に嫌気がさしていた時もあった。しかし、ホストマザーの「English is not the competition.」という言葉から、英語は言語だし、何を言いたいかだ。現地の人は何も自分の英語力をジャッジしないと考えられるようになった。

③留学した体験を今後の生活にどのように生かしていきますか。

- 留学中は沢山辛い経験もしました。しかし同時に、自分が成長したとも確信しています。諦めない姿勢を忘れずに挑み続けたことで、どんな困難も乗り越えることができました。これからは受験生です。留学中以上に辛いことも上手にいかないことも沢山あるに違いありません。しかし、この留学生活を活かして絶対に乗り越え、「合格」という勝利を掴み取ります。

TEFLプログラム

TEFLとはTeaching English as a Foreign Languageの略です。英語圏以外の国で英語4技能、第二言語習得理論などを教える学問もしくは資格となります。大学入試改革を通じて、英語は受験教科として4技能が求められる入試が多くなっています。特にスピーキングにおいては不安を感じる生徒、保護者の方も多いでしょう。そういったときに「留学」が思い浮かぶのではないのでしょうか。しかし「留学に行けば英語力が伸びる、英語が使えるようになる」、これは大きな間違いです。「適切な準備」をし、留学に臨むことによって桐陽高校留学進学コースは、「結果」を出します。「適切な準備」とは、英語学習はもちろんですが、それ以外にも留学に対する覚悟を決めること、また学び方を知ることなど、様々な桐陽methodがあります。この留学進学TEFL Programでは第二言語習得者として英語の学習方法、言語を通じた文化背景への理解や4技能取得に取り組んでいきます。この講座を通して留学準備、またその取り組みの一部である外部試験の実用英語技能検定やTOEFLを受験し、高いスコアを目指します。授業はQualifi Level 5 Diploma in TEFL[※]を持った講師によって行われます。

※国際資格：英国政府資格単位枠組みレベル5(Ofqual)／米国政府団体承認(DEAC)

留学進学コース1年生 留学前TOEFL ITP／実用英語技能検定 実績

2024年度

TOEFL ITPクラス平均
463
(CEFL B1レベル)

実用英語技能検定
2級取得率
100%

2023年度

TOEFL ITPクラス平均
463
(CEFL B1レベル)

実用英語技能検定
2級取得率
89%



令和5年度実績

- ✓ クラスの100%が英検**準1級**に合格！
- ✓ 早稲田・慶應・上智・GMARCH・関関同立大学合格者多数

令和5年度卒業生 **100%** → 令和6年度卒業生 **100%** 2年連続！

帰国後の生徒の声



長田 美咲 (小山町立北郷中学校出身)

留学先
Lady Smith Secondary School

この1年間の留学は、私にとってかけがえのない一生の宝物となりました。特に、初めて会う人に対して自分から話しかけることに対する恐れがなくなったことは、自分にとって大きな成長だと感じています。留学生活では、毎日のように新しい人と出会います。親しくなるためには、自分から声をかけ、会話を通じて相手との壁を取り払うことが不可欠でした。私は幼い頃から人見知りの一面がありましたが、留学の準備段階から現地での生活、さらには帰国後に至るまで、英語で自分の意見を自信を持って伝えられるようになりました。また、世界中の人々と交流し友人を得られたことで、物事を多角的に捉える力がつき、これまであまり関心を持っていなかった国際的な政治問題にも興味を持つようになったのは、大きな変化だと感じています。この貴重な経験を支えてくれた家族、先生方、コーディネーター、そして友人たちに、心から感謝しています。



高田 寧々 (伊豆の国市立長岡中学校出身)

留学先
John Barsby Secondary School

カナダでの1年間の留学生活は、私にとって人生最大の挑戦でした。家族と離れ、異なる文化で生活する人々の中で、母国語ではない英語を使って1年間生活することに、当初は大きな不安を感じていました。しかし、世界中の人々と関わる中で、異文化を学び、英語でコミュニケーションを取る楽しさを知り、その体験は想像以上に充実したものでした。多くの人と英語で会話を重ねることで、英語力が向上しただけでなく、物事を多面的に見る視野も広がったと感じています。そして、何よりもこの1年間を楽しく有意義に過ごすことができたのは、私を支えてくれた家族や先生方、周囲の方々の存在があったからだ、改めて実感しました。この貴重な経験を今後も大切に、感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生をより一層前向きに歩んでいきたいと思っています。



おかえり！
カナダ留学

2024年4月出発

2025年3月帰国



国際進学コース

留学期間 約3ヵ月※

2年次にオーストラリアで約3ヵ月間ホームステイをしながら現地の高校に通学します。生きた英語力や国際感覚、人間力を身につけたうえで、しっかりとした受験準備により、難関私立大学合格を目指します。また、実用英語技能検定は準1級、日本漢字能力検定は2級を目指します。

※留学期間は最低でも10週間以上を確保しています。



留学前〈2年次の夏休みまで〉

留学出発までの取り組み

国際進学コースでは、留学出発までの1年と約5ヵ月間で、約3ヵ月のターム留学に耐えうる英語力を身につけると共に、様々なコース独自の研修等を実施して現地での生活に適応していける人間力を養っていきます。また、日本の伝統文化にも触れ、理解を深める取り組みを行っています。

英語力強化

●英検2級以上の取得

●週2時間の英会話授業

留学資質の向上

●規則正しい生活習慣

●学習習慣の構築

●コース行事の実施

留学に出発

コース独自の研修・行事

- テーブルマナー講座
- 浴衣着付け教室
- 祭り寿司教室
- 有名大学見学
- 異文化理解出前講座
- 異文化交流会 など



1年次～2年次の年間スケジュール

1年次

4 April	入学式 / 朝学習単語テストスタート
5 May	異文化理解出前講座
6 June	英検 / 桐陽祭 / 大学見学
7 July	夏期進学講座 / ビブリオバトル
8 August	夏期進学講座 / ビブリオバトル
9 September	芸術鑑賞 / 祭り寿司教室
10 October	英検
11 November	遠足
12 December	冬期進学講座 / テーブルマナー講座
1 January	英検
2 February	マラソン大会
3 March	留学オリエンテーション / 春期進学講座

2年次

4 April	留学オリエンテーション
5 May	事前研修(英文願書作成) / 異文化理解出前講座
6 June	英検 / 桐陽祭 / 大学見学
7 July	夏期進学講座 / 浴衣着付け教室 / 留学オリエンテーション
8 August	夏期進学講座 / 留学オリエンテーション
9 September	出発
10 October	オーストラリア留学
11 November	帰国 / 帰国後オリエンテーション
12 December	冬期進学講座 / 留学報告会
1 January	英検
2 February	マラソン大会
3 March	春期進学講座

留学後〈2年次の3学期から〉

留学後の取り組み

留学報告会(12月)

留学前に、個人と学校ごとに研修テーマを決め、帰国後にそれをもとに英語で発表します。その発表を聞いた在校生からは、「堂々と英語で発表できる先輩たちのになりたい。」保護者からは、「子どもたちの英語力に驚きました。充実した留学を送ってきたことが分かり、良かったです。」という感想をいただきます。



英検対策

大学入試で英検をはじめ4技能を測る試験がますます重要になっています。放課後の桐陽塾、授業の一部を使って帰国後から英検対策を行っています。まずは、全員が2級を取得し、準1級の取得を目指します。併せて、級の取得だけでなく、CSEスコアのアップを目指します。



学習面〈3年次〉

受験科目に特化した授業	例	〈文系〉英語／国語／歴史+LHR、体育、総合探究、 $\angle$ タイム※ 〈理系〉英語／数学／理科+LHR、体育、総合探究、 $\angle$ タイム※ ※志望校に向けた受験対策
桐陽塾+進学講座	例	桐陽塾や夏期・冬期進学講座で演習時間の確保
朝学習	例	単語テスト(英語・歴史)・数学演習プリント

生徒の声

- 留学を通してリスニング力は上がりましたが、それだけでは英検準1級は受かりません。桐陽塾で行われる英検対策を受け、今まで以上に問題が解けるようになりました。
- 1年次から毎朝8:00に英単語テストを行い、授業中には熟語テストが行われ、大変だと感じていました。留学を通して単語や熟語の大切さに気づき、3年生になり、積み重ねた結果が試験の結果に表れています。
- 英語以外の科目も丁寧に指導してくださり、点数が取れるだけでなく、学ぶことが楽しくなりました。

英検取得率

卒業年度	2級取得率	準1級取得者数
令和3年度	95%	1人
令和4年度	100%	6人
令和5年度	84%	5人
令和6年度	100%	5人

主な進学先

【国公立大学】

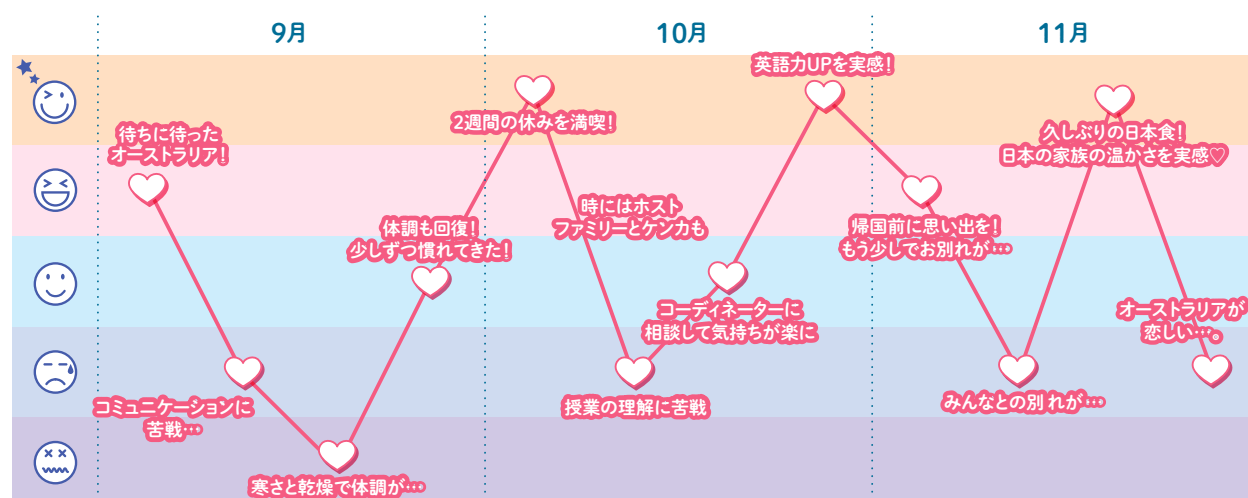
東京外国語大学／東京都立大学／横浜国立大学／静岡大学／静岡県立大学／都留文科大学／国際教養大学／釧路公立大学

【私立大学】

上智大学／立教大学／明治大学／関西学院大学／中央大学／青山学院大学／法政大学／津田塾大学／立命館大学／関西大学／同志社大学／獨協大学／明治学院大学／東京女子大学／関西外国語大学／成城大学／京都外国語大学／南山大学／日本大学／東洋大学／駒澤大学／専修大学／工学院大学 ほか

2年次

いざ、留学へ ★留学中の心理グラフ(Sさんの場合)



留学中のとある生徒の1日の過ごし方

6:30	起床、朝食・昼食を作る	16:00	帰宅
7:20	家を出て、バス停に向かう	16:00~17:00	夕食準備
8:40	学校着	17:00~18:00	夕食
	9:10~10:50		
	10:50~11:15		
	11:15~12:55		
	12:55~13:45		
	13:45~15:25		
	15:25~		
		19:00~21:00	ホストファミリーと一緒に勉強、ボードゲームやバドミントン、アイスを食べながら映画鑑賞など
		23:00	就寝

オーストラリアあるある

道路標識でカンガルーのシルエット!

挨拶をしたらみんな友達!

乾燥するので靴が必需品!

"You're welcome" じゃなくて "No worries"

とにかく食べ物の量が多くて食べすぎちゃう!



オーストラリア ビクトリア州 メルボルン



- 多民族都市であり、多様な文化に触れられる
- 世界一住みやすい都市に選ばれたことがある
- 町並みが美しい
- 湿度が日本と比べると非常に低いので、気温のわりには過ごしやすく感じる
- カフェがたくさんある
- 世界的に有名な建物や企業がたくさんある
- 日本のお店もある

留学中イベント(9月~11月)

Party	様々な国籍の友達のパーティに参加し、楽しむだけでなく多くの文化も知ることができました!
BBQ	オーストラリアの家庭では家族や親戚が集まり、週末にBBQを行うのが一般的です。
Birthday	オーストラリアでは誕生日を盛大にお祝います!ロウソクの火を消す掛け声が日本と違うことに驚きました。
Excursion	コーディネーターと出かける日が週に1回あります。留学中の出来事や悩みも相談できます。
Halloween	オーストラリアでは家の装飾がお菓子を貰える印です。子供たちが仮装をして一日中賑わっていました!
AFB	オーストラリアで人気のスポーツ、オーストラリアンフットボール。応援しているチームごとに知り合いが集まり観戦するパーティはとても盛り上がりました!
Summer time	時計を1時間早めて、夕方の時間を1時間増やすことで、太陽の出ている時間を有効利用という制度です。1日25時間の日ができ、他国との時差も1時間広がるので不思議な感覚でした。

卒業生メッセージ

小倉 彩瑛

国際進学コース卒業

テレビ静岡アナウンサー



テレビ静岡アナウンサーの小倉彩瑛です。県内出身として、タワイド番組「ただいま!テレビ」や「スポーツ番組」を主に担当しています。私は、高校生活で学んだことが今に繋がっていることを日々実感しています。留学では言葉が通じない悔しさを味わいました。そこでどうしたら伝わるかを考え、勇気を出して実践した経験こそ、今、伝える力や聞く力に活かされています。3年間で学んだことはなにひとつ無駄ではありません。ぜひ色々なことに挑戦してみてください。自分の財産となり将来に結びつきます。みなさんの第一歩を応援しています!

オーストラリアで驚いたこと

オープンマインド

- 目が合うと知らない人でも笑顔で話しかけてくれる。そのため、初めて会った人でも友達のように話していた。
- 日本人よりも自分に自信を持って過ごしている。友達のことも肯定してくれるので、自分の考えに自信を持てるようになった。
- 他の学年の生徒も私たちに興味を持ち、積極的に話しかけてくれた。日本の文化に興味を持っていた。

生活

- 日本よりもキャッシュレス決済が進んでいる。クレジットカードで買い物をする人が多い。
- 街中に多くのごみ箱がある。そのため、ポイ捨てすることなく街のごみ箱に捨てる習慣がついている。
- 歩行者用の信号と車用の信号は連動していない。歩行者は押しボタンで信号が変わる。
- スーパーでは野菜や果物は量り売りが多い。子ども用に無料で食べられる果物も置いてある。

気候

- 天気の変化が激しい。雨が降っていても傘をささない人が多い。
- 留学中のシーズンはとても寒いと感じる日もある。それでも半袖、半ズボンの人も歩いている。
- オーストラリアでもオーロラが見れる!

学校生活

- 校舎が高くて2階建てぐらいで、体育以外の授業を外で行うこともある。
- リセタイムという少し長めの休み時間が午前中にある。そこでおやつを食べて楽しく過ごしていた。
- 学校が終わると、みんなすぐに帰って、自分のための時間として使っていた。何をやるか自分で考えて生活しているので、自由度が高い分自主性が必要になる。

留学した生徒の声

①留学して良かった点や、成長した点など、どのように変化したか教えてください。

留学中に様々な人と接することで、今まで自分の中になかった新しい考えを持てるようになりました。オーストラリアの人たちは自分の考えに自信を持ち、それだけでなく他者の意見も尊重してくれます。授業や日常の会話の中で意見交換を行う中で「その考えいいね」と言ってくれることもありました。日本に帰ってきてからも自分の考えを相手に伝えることができ、様々な人の考えを取り入れることで自分自身の視野が広がりました。

②留学中の英語力の伸びについて教えてください。

もともとリスニングに自信がなく、留学したばかりの頃はみんなが話している内容がわからず、孤独感を感じました。留学前に受けた英検準1級ではリスニング問題が難しかったですが、オーストラリアで生活する中で、リスニング力が上がったと感じ、試しに英検準1級の問題を聞いたら聞き取れる内容が増えていました。自分のリスニング力の向上に感動し、留学中に英検の勉強を始めました。その甲斐もあり、帰国後の1回目の英検で準1級を取得することができ、自分の英語力に自信が持てるようになりました。

③留学中に一番苦労したこと、その問題をどう解決したか教えてください。

一番苦労したことは留学中の授業についていくことでした。留学では英語“を”学ぶのではなく、英語“で”学びます。1時間の授業の中で多くの専門用語が飛び交い、最初は内容がわからないまま授業が終わってしまうこともありました。わからなかったことはメモを取り、家に帰ってからホストファミリーに教えてもらうことや、授業が終わってから担当の先生に質問をすることを心掛けました。それだけではなく、授業中に友人に質問すると丁寧に教えてくれ、徐々に授業についていくことができるようになりました。わからないことをそのままにせず、自分から行動することで多くの人が私のことを助けてくれることに気付くことができました。

桐陽の国際進学コースなら将来の視野が広がる！

理系でも留学！理系こそ留学！
国際化が進む技術と産業



看護・医療技術系
食品栄養系などを目指す！

理系 × 留学

会話力向上だけが留学じゃない！
次世代が求める多様性と協働



国際学系・言語学・その他
全ての文系分野を目指す！

文系 × 留学

※物理・数Ⅲを受験科目とする分野への進学は限られる場合があります。

令和6年度実績



実用英語技能検定

2級取得率

100%

準1級取得者数

5名

帰国後の生徒の声



渡邊 杏（裾野市立富岡中学校出身）

留学先

Trinity College

留学生活は、楽しいことだらけで毎日が刺激的でした。オーストラリアで出会った方々は私が日本人であることを伝え、日本の文化を賞賛してくださり、改めて日本の文化が世界に与えている影響を感じました。また、留学前からオーストラリアのスポーツ文化に興味があった私にとって、オーストラリアの国民的スポーツであるオーストラリアンフットボールについて見識を得たことは貴重な経験になりました。この留学生活は将来について考えるための期間となり、私の人生の中でかけがえのない宝物の1つです。このような素晴らしい経験をさせてくださった家族、学校の先生方など多くの方への感謝を忘れずにこれからも成長していきます。



青木 優磨（沼津市立第五中学校出身）

留学先

Covenant College

留学生活の中では自分の英語力に自信がなくなることもありましたが、そんなとき、友達、ファミリー、コーディネーターのサポートのおかげで乗り越えることができました。実際に現地を訪れ、交流をすることで、本当の意味で異なる国の価値観や考え方を学ぶことができたと思います。また、この経験から自分の視野が広がったと感じています。新しい友人との出会い、オーストラリアで家族を作り、そして自分自身の成長を実感できたことは今後の人生において大きな財産になると確信しています。この経験を糧に自分の将来を豊かなものにしていけるよう、今後も頑張りたいです。



おかえり！
オーストラリア
留学

2024年9月出発

2024年11月帰国



安心と安全を追究したサポート体制

プログラムの企画・監修をしているJFIE（日本国際交流振興会）は、高校留学における30年以上のノウハウを活かし、厳選した安心でクオリティの高い現地ホストスクールを選定しています。

安全な環境のもと、研修目的を叶えるために選び抜いた国や現地高校に生徒を送ります。

国内のサポート体制（日本）



海外のサポート体制（留学先）

各国政府から認証を得た現地の受け入れ団体が、ホストファミリー、留学先校の選定または選定サポートを行い、現地でのオリエンテーション、問題解決、カウンセリング等を担当します。留学先校には専任のコーディネーター／カウンセラーが常駐します。彼らが本人、ホストファミリー、留学先校に定期的に連絡を入れ、その結果を、現地団体本部を通してJFIEに報告するなど、留学先で受け入れ団体あるいはJFIEの支援を行います。JFIEの留学プログラムは、現地受け入れ団体との緊密な提携の下に運営されています。



ホストファミリーへの
事前指導も行っています

ホストファミリーは、異文化交流に関心を持ち、その意義を理解しているかどうかなど多くの規準をクリアした家族が選ばれます。また事前に「留学生受入ハンドブック」を通して、留学生受入に対する具体的なアドバイスも行っています。

JFIE

特定非営利活動法人 日本国際交流振興会

留学プログラムの企画・監修・運営

国際教育・相互文化交流に関する研究とその機会を提供し、21世紀を担うグローバルな人材育成に寄与することを目的に1992年に設立した非営利団体（NPO）です。日本から海外への交換・私費の中長期の留学機会を年間平均550名の生徒に提供しており、事前・宿泊研修からオリエンテーションなど出発までの準備、留学中のカウンセリングや帰国後の研修などのサポートを行っています。海外留学生の受け入れ（年間平均約50名）も行っており、日本のホストスクールやファミリーの紹介、留学中のカウンセリングなどのサポートを行い、国際理解の推進に寄与することに重きを置いています。JFIEは、「共に生きる」という視点を持ち、自ら考え、能動的に地域社会に貢献する人材の育成を目指しています。

ISA

株式会社 アイエスエイ

旅行手配・取扱い窓口

「グローバルな学習体験を通して、すべての子どもの未来を拓きます」を理念に年間、小学校から高等学校まで、全国1,000校に海外研修、中長期の留学、日本国内での英語研修などの教育旅行の手配を専門に行う企業です。海外研修においては、英語圏5か国（アメリカ、カナダ、オーストラリア、シンガポール）に現地団体を持っており、学校ごとのニーズや適性に合わせた独自のプログラムの提供を実現しています。1970年の創立以来、全国に10の拠点を構え、国内・海外研修に60万人以上の方にご参加をいただき、年齢や英語への関心の段階に応じたライフステージラーニングの総合提案をしまりました。近年では、海外大学進学サポートをスタートさせ、世界レベルでトップの大学への進学の手配も行っています。多くの若者がグローバル社会で活躍するためのサポートを目指しています。

Q1 コース変更はできますか？

他コースから留学進学コースへの転入はできません。国際進学コースへは、意欲・能力・目的などを総合的に判断し、適切と認められれば、2年進級時に限り他コースからの転入を認めています。留学進学コース・国際進学コースからの転出※は、カリキュラム上、不都合がなければ転入と同様の条件で認めています。

※留学進学コースは特別進学コース文系への転出が、国際進学コースは英数進学コースを除くコースへの転出が可能です。

Q2 病気になったり事故にあったりしたらどうなるのでしょうか？

ホストファミリー、さらには現地受け入れ団体のコーディネーターが対応してくれます。海外での医療費は高額ですので、必ず海外旅行傷害保険に加入していただきます。盗難にあった時や損害賠償を請求された時も保険でカバーされます。原則歯科治療や既往症には適用されませんので注意してください。

Q3 感染症のパンデミックなどにより留学ができなくなってしまった場合はどうなりますか？

まずは留学ができる可能性を最大限に模索します。それでも実現しない場合には、通常の高校2年次としての科目を履修しなければなりません。それに加えて代替プログラムを用意します。日本にいながらにして少しでも留学に匹敵する力をつけられるようになっています。特に進学時に有利となる実用英語技能検定準1級レベルの英語力をしっかりと身につけ、進路実現は例年と遜色のない取り組みを行っています。

Q4 年間どれくらいの費用がかかりますか？

留学先国、期間によって異なります。目安としては、現地のプログラム費用※は1年間で約530万円、3ヵ月間で約170万円です。このほかに渡航手続き関連費用やお小遣い等が別途必要になります。詳しくは直接お問い合わせください。

※授業料、滞在費、現地サポート費用（為替の変動により変わります。）

Q5 留学進学コース以外で、1年間の留学はできますか？

留学進学コース以外でも、その適性と能力が認められれば、すべてのコースで1年間の個人留学を許可します。帰国後の審査で留学中の単位が認定されれば、3年間で卒業が可能です。ただし、個人の希望留学となりますとすべて自己責任となるのでよく検討し、慎重に判断する必要があります。

Q6 授業についていけるか不安なのですが、大丈夫でしょうか？

留学には何といても事前準備が大切です。出発まで、少しでも多く英語に触れ、ふだんから英語で考える習慣をつけましょう。留学先での正規の授業の橋渡しとして、ESLコース（留学生のための英語授業）やそれに相当する授業が用意されているので、そこで英語に慣れることができます。また、留学中困った時は、留学先の学校のアドバイザーに積極的に相談してください。最初は誰でも不安なものです。

Q7 中学生のうちに何か準備できることはありますか？

留学進学コースも国際進学コースも、高校3年間で習得する文法事項を全て1年次のうちに学習します。ですから、中学校での学習事項はできるだけ身につけておきましょう。実用英語技能検定準2級程度のレベルにあることが望ましいです。また、スポーツや楽器など何か特技があると、留学中に人間関係を築く良いきっかけになります。無理に取り組む必要はありませんが、趣味や特技があればそれを大事にしましょう。なお、心身ともに健康・健全であることが海外生活では非常に重要です。是非、心と体を鍛えておきましょう。

Q8 何か留学のための条件はありますか？

心身ともに健康であることが、留学の一番大切な条件となります。心配な既往症をお持ちの場合は、ぜひご相談ください。次に、留学先の国の査証を取得し、入国の条件を満たす必要があります。国ごとに、また査証の種類により条件は異なることもあります。また、変更されることもありますので、気になることがあれば、ご相談ください。最後に、出発までに留学に耐えうる英語力を身につける覚悟と、留学を卒業後の進路実現のための大切な手段であるとする意識を持つことが留学の条件といえるでしょう。